

ま え が き

横浜市では昭和48年度から、ほぼ3年ごとに市内の海や川に生息する生物を調査して、その結果を公表してまいりました。これは、市民の方々に生物を通して水質の汚濁状況を理解していただき、水質や水環境の改善について理解を深めていただくことを目的としております。

この調査も8回目となり、平成10年に河川の調査結果をとりまとめましたが、今回、海域の調査結果を「横浜市内水域生物相調査会」及び横浜市環境科学研究所が本報告書としてとりまとめました。

横浜市は「ゆめはま2010プラン」基本計画の中に、「魚や様々な生き物がすめるきれいな川や海で、釣りや水遊び、水辺の散策など市民がふれてたのしめること」を環境の目標として掲げています。さらに、このような快適な水環境を保全・想像するため、「横浜市水環境計画（よこはま水環境プラン）」を平成6年3月に策定し、水域ごとに指標生物等をはじめとした水環境目標を掲げ、各種の施策を推進しているところです。

本報告書は、このような水質改善や水環境保全の取り組みを推進するための基礎資料として、行政のみならず、研究者、市民の方々にご活用いただければ幸いと考えております。

また、調査の実施にあたってご協力いただいた「横浜市内水域生物相調査会」の先生方に謝意を表します。

平成11年3月

環境保全局長 中村 芳之

横浜市内水域生物相調査会構成メンバー

| 氏 名 | 所 属 | 調 査 項 目 |
|--------------|----------------|---------|
| 林 公義 (代表) | 横須賀市自然・人文博物館 | 魚類 |
| 田辺 秀樹 | 東京水産大学水産学科 | 魚類 |
| 萩原 清司 | 相模湾海洋生物研究会 | 海岸動物 |
| 島村 嘉一 | 相模湾海洋生物研究会 | 海岸動物 |
| 秋本 泰 | 財団法人 海洋生物環境研究所 | 底生動物 |
| 田中 次郎 | 東京水産大学資源育成学科 | 海藻, 汽水藻 |
| 小林 敦 | 東京水産大学資源育成学科 | 海藻, 汽水藻 |
| 檜村 昇 | 東京水産大学資源育成学科 | 海藻, 汽水藻 |
| 鳥海 三郎 | 社団法人 観音自然博物館 | プランクトン |
| 井上 勲 | 筑波大学生物科学系 | 微細藻類 |
| 守屋真由美 | 筑波大学生物科学系 | 微細藻類 |

注) 所属は執筆当時の所属とした。

目 次

第一部 横浜市海域における生物相調査概要

| | | |
|-----|----------------------|----|
| I | 調査項目及び調査方法 | 1 |
| II | 横浜市沿岸域の海の概況 | 4 |
| III | 海域の生物相調査結果の概要 (林 公義) | 7 |
| IV | 生物指標から見た水質汚濁状況 | 10 |
| V | 水環境目標の水域区分ごとの達成状況 | 14 |

第二部 生物相調査結果

| | | | |
|---|---|---|-----|
| 1 | 横浜市沿岸域の魚類相調査 (1996年度) —魚類相及び漁獲状況の経年変化— | (田辺英樹, 林 公義) | 15 |
| 2 | 横浜市沿岸の海岸動物相 | (萩原清司, 島村嘉一) | 59 |
| 3 | 横浜市沿岸域の底生動物相 | (秋本 泰) | 91 |
| 4 | 横浜市の海藻および汽水藻 | (田中次郎, 小林 敦, 檜村 昇) | 125 |
| 5 | 横浜市沿岸のプランクトン相調査 | (鳥海三郎, 水尾寛己, 二宮勝幸) | 153 |
| 6 | 横浜市沿岸域の海産微細藻類 | (守屋真由美, 中山 剛, 関口弘志 佐久間茂雄, Nining Betawati Prihantini 伊地知伸行, 山下憲司, 井上 勲) | 177 |